

平成 12 年 8 月 23 日

平成 12 年度（春季）「一般環境大気中のダイオキシン類調査」

—基準値下回る結果、清掃工場の稼働による影響はなし—

豊島区では、平成 11 年 7 月から本稼働した豊島清掃工場（上池袋 2-5-1）による一般環境への影響度合いを把握するため、本年 5 月に区内 2 ヶ所において大気中のダイオキシン類濃度調査を実施、今回その調査結果がまとまった。

大気中のダイオキシン類濃度調査については、これまで夏季と冬季の年 2 回実施してきたが、本年度より四季に 1 回（年 4 回）の実施となり、今回実施された調査は今年度第 1 回目（春季）となる。また、本調査は東京都環境局の調査と一部同日程で実施（都の調査結果は未発表）、前年度実施の調査 5 地点のうち、区実施の 2 地点について引き続き調査したもの。今回の調査結果については、区広報紙（「広報としま」8 月 25 日号）で区民に公表する他、環境保全課窓口等でも閲覧できる。調査内容及び結果の概要は以下のとおり。

◆調査内容

(1) 採取日時

平成 12 年 5 月 10 日（水）及び 5 月 11 日（木）に大気の採取を始め、それぞれ 24 時間ずつ実施した。

(2) 調査地点

ア) 巣鴨第一児童館屋上（巣鴨三丁目 13 番 12 号）

イ) 長崎保健所屋上（長崎三丁目 6 番 24 号）

※上記の場所は、区内の一般環境大気を監視する測定室が設置されている。

(3) 調査方法

「有害大気汚染物質測定方法マニュアル（環境庁 平成 11 年 3 月）」の方法

(4) 調査対象物質

ダイオキシン類（ポリ塩化ジベンゾーパラジオキシン 13 種類、ポリ塩化ジベンゾフラン 16 種類、コプラナーPCB12 種類）

◆調査結果及び評価

調査 2 地点の 2 日間の平均値は、大気 1 立方メートル当たり 0.18pg-TEQ。

環境庁の定める大気環境基準（基準値 0.6pg-TEQ/立方メートル）は年平均値と比べて評価することとなっているが、今回の結果はこの基準を下回っていた。また平成 11 年度の年平均値は 0.20pg-TEQ/立方メートルで、今回はその数値よりわずかに低下している。

単位：pg-TEQ/立方メートル

調査地点	5 月 10 日	5 月 11 日	平均値
巣鴨第一児童館	0.12	0.24	0.18
長崎保健所	0.11	0.24	0.18
平均値	0.12	0.24	0.18

《参考：平成 10 年度及び 11 年度の調査結果》

単位：pg-TEQ/立方メートル

調査地点	平成 10 年度・年平均値	平成 11 年度・年平均値
巣鴨第一児童館	(0.13)	0.20
長崎保健所	0.14	0.20
* 清掃工場内	0.17	0.23
* 文成小学校	0.20	0.15
* 千登世橋教育文化センター	0.21	0.19
平均値	0.17	0.19

*は東京都の調査地点（今年度の調査結果はまだ出ていない）

() の数値はコプラナーPCB を含んでいない。

詳細：環境保全課